

経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○法人名：仙台空港鉄道株式会社

○経営健全化方針を策定した理由：平成 28 年度に債務超過が発生したため

○財政的リスクの状況

項目（単位）	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度 決算	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算	計画	
								目標値	目標達成年度
年間乗降者数（千人）	3,653	3,709	3,975					4,038	令和 7 年度
当期純損益（百万円）	△157	1	10					119	令和 7 年度

○主な取組状況（令和 2 年 3 月時点）

<p>【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パークアンドライド等対応のため、2 駅の高架下を時間貸し駐車場としているほか、駅構内に銀行 ATM や自動販売機、トイカプセルを設置するなど、施設の有効活用に努めた。 ○ 当社のキャラクターグッズを開発し、N ゲージ走行会や塗り絵大会等を併催した定期販売会を開催し、鉄道を利用する誘客及びグッズ販売による輸送外収入の確保に努めた。 ○ 沿線施設のグランドオープンや GW、お盆、年末年始等の多客期において、車両の増結等により、お客さまの効率的輸送と混雑の緩和を図った。また、2020 年 3 月のダイヤ改正では、データイムの 2 両編成車両 40 本中 14 本を 4 両化して車内快適性の向上と輸送力の強化を実施した。 	<p>【県による財政的リスクへの対処のための対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ JR 東日本仙台支社、仙台空港鉄道（株）、仙台国際空港（株）及び県による意見交換会を開催し、鉄道利用者の利便性向上に向けた調整を図った。 ○ 鉄道会社が策定した「中期経営計画」の目標達成に向けて、随時、助言・指導を行った。
---	---

○法人の財務状況（単位：千円）

【貸借対照表】

項目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度 決算	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算
資産合計	7,397,805	7,231,981	7,151,674				
流動資産	1,434,388	1,793,646	1,696,985				
固定資産	5,963,417	5,438,335	5,454,688				
負債合計	7,677,560	7,510,465	7,419,262				
流動負債	314,864	327,706	404,824				
固定負債	7,362,696	7,182,759	7,014,437				
純資産	△279,754	△278,483	△267,587				
資本金	7,129,000	7,129,000	7,129,000				
利益剰余金	△7,408,754	△7,407,483	△7,396,587				

【損益計算書】

項目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度 決算	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算
売上高	1,004,513	1,035,982	1,081,541				
売上原価	857,443	714,440	7,33,525				
販売費及び一般管理費	309,436	311,165	313,925				
営業利益	△162,367	10,376	34,090				
営業外収益	2,211	2,122	1,849				
営業外費用	7,550	7,392	7,263				
経常利益	△167,706	5,106	28,676				
当期純利益	△157,531	1,271	10,895				